

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 12 日

事務事業名		地域医療再生事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010301000286	
						単独/補助	単独		025301	
政策体系	政策体系上の位置付け		0103 地域医療の充実		主要事業		所属課		病院整備推進課	
	総合計画の施策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり		市長マニフェスト					
	政策名		03 地域医療の充実		未来PJ事業		グループ		企画調整グループ	
	手段名		01 ①市立病院の整備		合併建設計画事業					
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	08	06	00	市立病院整備事業			
法令根拠						期間限定複数年 (平成26年度～平成30年度)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>筑西市及び桜川市の地域の医療を担う新中核病院整備については、平成26年3月の両市の合意により、筑西市が整備運営することとなり、県西総合病院は桜川市が整備運営することとなった。その後、公立病院改革における経営改革や再編ネットワーク化の観点から、2公立病院の再編統合が求められた。これを受け、平成27年1月の両市の合意内容変更により、筑西市民病院及び県西総合病院に山王病院を加え再編統合することにより、新たに、筑西市が茨城県西部メディカルセンター (新中核病院) を整備・運営し、併せて、桜川市がさくらがわ地域医療センターを整備・運営することになった。そのため地域医療の方向性や医療機能の役割分担・連携について、2病院を包括する基本構想を策定することや、両病院の基本計画策定、実施設計、施設整備等を推進する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県西部メディカルセンター (新中核病院) 及びさくらがわ地域医療センター整備にあたっての関係行政機関や医療機関等との協議や調整業務</li> <li>・さくらがわ地域医療センター整備に係る基本構想、基本計画策定、実施設計、施設整備に係る業務</li> <li>・さくらがわ地域医療センター整備にあたっての総合調整 (執行体制構築、財源確保、企業会計設定、指定管理手続き、病院開設関係手続き、組合解散手続きなど)</li> </ul>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立2病院の病院整備にあたっての関係行政機関や医療機関等との協議や調整業務</li> <li>・桜川市立病院整備に係る基本構想、基本計画策定、実施設計、施設整備に係る業務</li> <li>・桜川市立病院整備にあたっての総合調整</li> </ul>	関係機関との協議回数	回	46.00	25.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
桜川市立病院、市民	整備する市立病院の数	個所	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	桜川市民人口	人	41,278.00	41,008.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
桜川市立病院を整備する	事業の進捗状況	%	87.75	100.00	0.00	0.00	0.00
	(基本構想25%基本計画25%)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	実施設計25%施設整備25%の段階割合		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量	
			(実績)	(実績)	(計画)		
入	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	2,094,400	2,524,000	0	0
		使用料・手数料	千円	0	4,000	0	0
		その他	千円	3	1	0	0
		一般財源	千円	57,090	407,441	0	0
		事業費計 (A)	千円	2,151,493	2,935,442	0	0
量		正規職員従事人数	人	8.00人	8.00人	0.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)		01年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	108	19	負担金補助及び交付金	102,420
08 報償費	36	23	償還金利子及び割引料	70,571
09 旅費	51	29	予備費	3,008
11 需用費	8,995			
12 役務費	369			
13 委託料	281,303			
14 使用料及び賃借料	2,326			
15 工事請負費	1,557,639			
17 公有財産購入費	807,142			
18 備品購入費	101,474			
	合計		合計	0

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	地域医療再生事業	事務事業No.	10301000286	所属課	病院整備推進課
-------	----------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年の医師研修制度の改革以降、医師不足などにより、病院経営が困難な状況になった。</li> <li>公立病院の改革改善が国より示されたことを受け、茨城県において再編・ネットワーク化構想、地域医療再生計画に、公立病院の再編統合や新中核病院整備が位置づけられた。</li> <li>平成27年1月の両市の再度の合意内容変更により、筑西市民病院及び県西総合病院に山王病院を加え再編統合することにより、新たに、新中核病院を整備し、併せて、さくらがわ地域医療センターを整備することとした。</li> </ul>	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>県西総合病院の存続に関する決議が市議会で決議された。</li> <li>病院では、施設の老朽化対策、耐震化対応や医師招聘や医療従事者の就業環境改善も求められている。</li> <li>国、県からは、公立病院改革の観点から2公立病院の統合再編により早期の経営改革等の取組が求められている。</li> <li>市民アンケート「地域で適切な医療が受けられているか」で「そう思う」「ややそう思う」の回答割合が平成29年に比べて2.4%減少し、「そう思う」は0.2%上昇した。</li> </ul>	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	茨城県西部メディカルセンター整備事業(筑西市)との連携については、ICTの活用などにより緊密な連携を想定している。具体的な手法については両公立病院の医療機能を明確化し、平成29年度より実施している両病院の理事長、院長候補者との意見交換をおとして検討する。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画では、政策実現の基本理念の柱として子供から高齢者まで健康で共生するまちづくりが掲げられ、具体的な施策として医療機関を整備し地域医療体制の充実を図ることを位置づけている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市立病院整備は地域において提供されることが必要な医療のうち、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な政策的医療等を提供する医療施設の整備であるため公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 建設工事については、早期完成により早期に成果が期待できるが、現時点でスケジュールを前倒しているため工期の短縮は難しい。また、実施設計が概ね完了しているため整備する施設の内容の充実が難しい。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事務事業の廃止・休止は地域医療の崩壊につながる。
公正性	⑤類似事業との統合・連携の可能性 (類似事業や統合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →)
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 茨城県西部メディカルセンター整備事業(筑西市) さくらがわ地域医療センターは、高度医療機関や茨城県西部メディカルセンターの後方支援の役割を担い、回復・維持期を中心に医療提供を行う。また、地域の医療機関と連携し、在宅療養支援病院を目指すとともに、市民に身近な医療提供を行う。
公正性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 人件費は多種多様な業務が発生するため、人的な体制強化が必要である。事業費は、増額要因がある中で設計内容の検討やコスト・工程管理、医療機器の効率的な選定などコンサルタントによる総合的な支援により全体予算内に抑えることが期待できる。
公正性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である さくらがわ地域医療センターの整備は、桜川市の地域医療体制の確保に資する事業であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	本年度は建設工事を着工した。3月末現在の進捗率は51.0%である。また、医療機器等の調達業務、開設許可の取得事務、病院事業会計の設置、指定管理者の選定を行い指定の議決を得た。スケジュールどおり執行しているが、断続的に想定外の業務が発生している。県西総合病院の解散事務に関する構成市間の調整が早急に必要となっている。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○		低下			
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		○																			
	低下																					
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果																				
		コスト削減優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>